

このレポートをダウンロードいただきまことにありがとうございます。

## [家の重大箇所をより良くする方法]

=知らなきゃ損!--後悔しない為の知識=

としたのには訳があります。

新築、リフォーム時、  
もしくは引越しなどの移転、移住時においても必ず皆が感ずる、  
そして私自身困った経験がある事柄を上げ、

解決の為の方法をお伝えしようと思ったからです。

### [はじめに]

先ず  
建築物とは 後から細工が出来ないものであるということを理解してください。

では 具体的に例を上げてみましょう。

- 1.階段に手すりを もう片側にも付けたい時
- 2.洗面室のパイプの数や 位置を変えたい時
- 3.TV をカベに取付したい時
- 4.冷蔵庫の上に棚板を付けたい時
- 5.納戸(物入れ)に棚板やフックを付けたい時
- 6.廊下やトイレにも手すりを付けたい時
- 7.意外に必要! 玄関の盲点

以上の点は  
誰しもが入居後に感じるところであり  
将来において必要になる可能性が強い事柄です。

ですが 残念なことに

その時になってご自分では解決できない事柄でもあるのです。

その理由は  
すごく単純で明快な事なのですが

**『下地が無い』 ことに起因しています。**

そして  
考えれば想像できる事ばかりなのに

**特に希望しなければ下地工事はしてもらえない! という現実です。**

もし仮に  
下地を付けてもらえとしても

何のために?

どのように?

という知識は 設計、  
特に住宅の家具の知識が無ければ 気がつかないことでもあり

残念ながら  
周辺工事の知識は 住宅(建築)の知識意外となっているため  
話を避けざるを得ないという印象を受けています。

それでも 新築、リフォーム時、 という条件に限りませんが、  
打ち合わせ時に 話すことで 以上の点は解消出来ます。

## [具体例の解決法]

具体的に想像し、将来のためと言ってお願ひする

では 具体的に例を取って 説明しましょう。

### 1.階段に手すりを もう片側にも付けたい時

これは 想像できないかも知れませんが  
手すりは 理想としては両方あるほうが 断然安全です!

なぜならば 手には 「利き手」というものがあるからです。

そして 高齢になればなるほど片手でつかまるだけでは  
体を支えることが困難になります。

よく  
地下鉄の階段を両手で 手すりを持ちながら上がってくる ご老人を見かけることがありま  
す。

今の自分には 想像できないことも考えておいて損はないということです。

下地は一定間隔では必ず入っているものですが  
「連続手すり」とする場合は 下地が入っていなければ付きません!

そして  
バリアフリー住宅では「連続手すり」が当たり前になってきていますので  
階段の両側のカベに一定の高さ(=手すり取付高)に下地を入れてもらいましょう!

### \*\*\*注意\*\*\*

下地のない所に手すりを付けるためと  
ボードアンカーを使っているのを見たことがあります  
近い将来、必ず「抜けかかって」 きます!!!

その場合には 多少見てくれは悪いのですが

横方向に板(12mm 以上)を取り付けてから 手すりを付けるようにしてください。

## 2.洗面室のパイプの数や 位置を変えたい時

これは必ずある要望です!

まず  
「手が届かない」場所にパイプがあるといったことはありませんか?

小さなお子さんは届かないとしても  
女性まで手が届きにくいといったことは よくある話です。

それと  
段違いにパイプを付ける必要も感じていますが

洗面室の多くは 下地が余分には入ってはいないため  
一定間隔でしかパイプを付けることができません!

ですから  
洗濯機の上に棚板やボックスを付けたいと思っても

下地が 希望の場所になければ やはり付かないのです。

ですから

特に洗面室にはあらかじめ あらゆるパターンを想定して  
下地の打ち合わせをする必要があります!

ここを簡単に考えてはいけません!

今、思いつかなくとも 余分に下地をいれてもらいましょう。

### 3.TV をカベに取付したい時

家の中でも TV をどこに置くかと考えると思います。

以前は テレビは台に置くものとして  
せいぜい考えておくことは アンテナの位置くらいのものでしたが  
今はこの部分をしっかり考えておくか何もしないかで  
**その後の 充実感に影響を及ぼす場所はありません!!**

では 具体的に説明します。

①TV は必ずカベ付けを考えていると伝えましょう

②コンセント、アンテナの他に LAN も希望する

③TV の上の天井にコンセント、場合により スピーカーの コード を目立たないように出し  
てもらう

④プロジェクターを天井に付ける場合の下地を付けてもらう

⑤スクリーン取り付けのための下地を付けてもらう。

どうですか?

必要が無いというものも当然あったと思いますが  
これだけお願いしても  
**下地工事としてはほんの少しの気遣いでできてしまうのですよ!**

ですが

建築側がお客様に積極的に提案するという事は限りなく無いことです。

しかし具体的=目に見える形、図面や写真、スケッチ等で伝えることができれば

快く相談に乗ってもらえるでしょう。

#### 4.冷蔵庫の上に棚板を付けたい時

冷蔵庫の上はデッドスペースとなっていないですか？

ちょっとした棚(一枚)や箱が欲しいと思ったことはありませんか？

絶対ありますよね!

それで付けてみようと思いホームセンターで板を購入し  
いざ! 取り付け! . . . . あれっ? 下地が無い!!!

それで下地を作る為の材料とボードアンカーをまた購入する . . .  
なんとか付けることができて不格好で美しくない(;\_;

でもこれらのことって、  
下地が有りさえすれば何も苦労せずにできたことがらなんです。

ですから打ち合わせの時には必ず伝えましょう。

#### 5.納戸(物入れ)に棚板やフックを付けたい時

物入れには  
あらかじめ棚が付いている場合が多いものですが  
意外とフックなどの小さな金物を取り付ける時に  
下地がないので付けることができないということも少なくありません。

ですから  
あらかじめ物入れの両側のカベにフック類を付けたいと伝えましょう。

それだけで下地を入れてもらえるはずですよ(^-^)

#### 6.廊下やトイレにも手すりを付けたい時

これはとても大切なことなんですが  
手すりが必要なのは階段だけではないということです。

高齢者施設にあるような  
廊下やトイレの手すりが付けれる下地工事をしてもらえば安心です。

## 7.意外に必要! 玄関の盲点

玄関には意外と盲点があるのをご存知ですか?

それは私自身が怪我をして車椅子で家に帰ったときのことなんです

家の前の玄関に上がることも非常に困難が伴いました。

つまり玄関に上がる為の階段を登れないため  
車椅子ごと持ち上げてもらったということです。

今でこそ玄関前にスロープのある住宅が増えましたが  
当時は少なかったものです。

### 玄関ドアの幅に注意!

これは家の中にも通ずる話ですが  
玄関だけは 必ず車椅子が通るかどうかを確認しましょう。

そして

**外にも 転倒防止の為の手すりがあったほうが断然安全です!**

若くても夜間、ステップでつまづくことはあるものです(^\_^;)

ですから 家の中から外にいたるまで 下地をいれてもらうと良いということです。

### [最後に]

残念ながら

新築時やリフォーム時において そこまで踏み込んで提案してもらえることは希だと思って  
いたほうが 良いでしょう。

ですから やはり 『知識は身を助ける』 の言葉通り  
機会あるごとに住宅展示場を見て歩いたり WEB、メルマガ等で  
知識を得るようにすると良いと思います。

**ちなみに展示場の受付が嫌だ! 家を持っているから行きづらい!  
という方でも すんなり入れる魔法の言葉をお教え致しましょう。**

「私には知人から、家を考えているんだけど どのメーカーが良いのか教えて欲しい! と  
良く言われるんですよ」

「ここの、ほかのメーカーには無い「売り」はなんですか？」

と言うと相手も緊張して丁寧に答えてくれますよ! (^-^)

最後まで お読みいただきありがとうございます。  
以上の観点は私が長い間、オーダー家具屋として設計や現場で培ってきたものです。

そしてこのような知識は WEB でもなかなか知るべくもない現状をかんがみて  
今回提供させていただきました。

## [自己紹介]

簡単な自己紹介をさせていただきます。  
私は長い間、住宅に関わる『造作家具』や『特注キッチン』などの家具や部材作りを通して  
何人もの一級建築士の方々やインテリアコーディネーターと打ち合わせを重ねてきて  
います。

そして数々のお客様の意見を間近に聞ける立場でもあった為  
「家」とは住んでからが評価に値するという実感を得ています。

ホームページ

<http://kd-office.com/>